



キツネの足跡

里山通信

「蒲沢(かばさわ)」

第62号

平成22年2月10日発行

発行責任者

里山ねっと赤坂

代表 和田 伸太郎



2/7(日)大沢市民センターと共催で、「冬の里山歩き」を実施。41名の方が参加されました。今回の目玉は、野生動物の足跡探しでしたが、暖冬のせいか2月に入っても雪が全然ないのでどうしたものかと心配していたところ、ここにきて寒波が到来、前日は、久しぶりの大雪になりました。そんなわけで、この日は、足跡探しをするには、絶好の日和になりました。また、今回、宮城のサル調査会の伊澤先生と宇野先生にガイドを依頼、お二人は、日頃からサルの調査や追い出しで

野山を駆け巡っていらっしゃるので歩き出して早々にテンやキツネの足跡を発見、いろいろ参考になるお話をお聞きすることができました。例えば、この日も野ウサギのあの特徴のある足跡を見つけましたが、それが、林の切れたところで急に間隔が広がっています。これは、野ウサギが、鷹などからすばやく身を隠すために大ジャンプして林の繁みに向かって横切っていたためと教えていただきました。こんな風に足跡を見てその時々動物の様子を想像できるようになれば楽しいですね。



(東屋での記念撮影)

